

# 令和5年度 友愛苑拠点 事業計画書

## I. 拠点内容

### サービス区分

- ・ 特別養護老人ホーム 友愛苑（指定介護老人福祉施設） 定員100名
- ・ 〃〃 （短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護） 定員 10名
- ・ デイサービス こだま（通所介護・介護予防通所介護） 定員 35名
- ・ 友愛高齢者生活支援センター（居宅介護支援）

## II. サービス取り組み

全 体：コロナウィルスの類型見直しを勘案し、かつての日常生活に少しでも近づけて、困っている人に手を差し伸べる友愛の心を大切に支援に励みます。

### 1. 各サービスの取り組み

#### A) 特別養護老人ホーム 友愛苑（短期入所生活介護含む）

##### ◆ 行動指針

- ・ 利用者主体のやさしい心で介護します。
- ・ 笑顔が溢れる暮らしを提供します。
- ・ 地域に愛され親しまれる友愛苑を支えます。

##### ◆ 事業方針

- ・ 友愛苑が法人の中核施設であることを周知徹底し、法人経営に貢献します。
- ・ 特養入居、短期入所を柔軟に活用し、合計稼働率を高め収入増を図ります。
- ・ 申し込みから迅速かつ丁寧な対応で入居および入所に繋がります。
- ・ 感染予防を徹底し、安心・安全な入居・入所生活の提供に努めます。
- ・ 物価高騰を鑑み、経費節減に取り組み利益率の向上に努めます。
- ・ 地域になくてはならない友愛苑を意識して日々の業務に励みます。

##### ◆ サービスの取り組み

###### ➤ 介護サービス

- ・ 法人理念・行動指針の周知を徹底し、笑顔を忘れず、気づきを大切にして思いやりのある温かい介護サービスを提供することによりご利用者の満足度を高めます。
- ・ 友愛苑拠点における各種会議（定例・リーダー・安全対策・災害対策・感染症対策・給食・衛生）の充実を図り、居心地の良い安心・安全な生活環境を維持し、リスクマネジメントに努めます。
- ・ 年1回の虐待義務研修及びその他の職員研修において、要援護者の人権尊重について職員一人一人に考える機会を与えると共に、職員のハラスメントやメンタルヘル

スにも配慮して不適切なケアの発生予防に努めます。

- ・ 機能訓練指導員（理学療法士）を中心とし、機能訓練の充実と自立支援を基にした生活リハビリの更なる充実を図ります。

➤ 医療的ケア

- ・ 新型コロナウイルスの感染予防に対しての研修を全職員対象に開催し、予防に対する知識の習得及び注意喚起を行います。
- ・ 嘱託医との連携を強化し、臨機応変な対応に努めます。
- ・ 昨年、退所件数21件のうち17件が看取り介護であり、今年度も更に需要が高まると考えられます。嘱託医と医務、多職種との連携を更に深めて、ニーズに柔軟に対応して、引き続き尊厳ある看取り介護に取り組んでまいります。
- ・ 入所者の褥瘡の発生と関連リスクを把握し褥瘡の改善及び発生の予防に努めます。
- ・ 月一回医療研修を行い、介護職員の医療知識の向上を図ります。

➤ その他

- ・ WITH コロナにおいて外出や全体行事の開催が可能かどうかを見極め、苑内でも外出気分が味わえる催しを4階ホールや中庭を活用して実施してまいります。
- ・ ユニットごとの環境整備を継続し、居心地の良い居住空間を提供します。
- ・ 職員の意見を取り入れ、働きやすい職場環境づくりや感染対策に取り組み、安心して働ける職場づくりに努めます。
- ・ 本部の設備管理担当と連携して設備・機器の自主点検を行い18年目を迎える施設財産の老朽化対策・適正管理に努めます。

◆ 今年度の重点取組

- ・ WITH コロナにおいて、ご利用者に楽しんでいただけるよう、季節行事の開催に工夫を凝らして実施します。感染対策を図りながらご家族と一緒に楽しめる機会の提供を検討します。引き続き、法人のインスタグラムにおいてお元気に楽しんでおられる様子を発信してまいります。食事を栄養士と給食業者の協力により充実させ、とんかつや天ぷらの調理実演・毎月のイベント食やおやつ作り等は継続して楽しんでいただきます。
- ・ 各種担当会議の活動状況・方針を職員へ周知し、施設間・職員間の連携を深めます。
- ・ 令和3年度一次補正予算理事会。評議員会で提案させていただいた、友愛苑敷地内に診療所を開設する件については継続して検討してまいります。
- ・ 管理栄養士1名が育休からの復帰を4月に予定しており、5月より体制が整う事で「栄養マネジメント強化加算」の算定を再開する予定としています。

B) デイサービス こだま

◆ 行動指針

- 地域とのつながりを大切にし、関わりを深め、地域の一員として成長していきます。
- 利用者個々の声を聴き、想いを汲み取り、喜びのある暮らしを支援します。

- 常に専門職として誇りを持ち、知識や技術の向上に努めます。

#### ◆ サービスの取り組み

##### ➤ 健康管理

- ・ ご利用者・家族さんと主治医、疾病、治療内容、薬の種類の確認及び健康状態の情報を共有し、適切な支援ができるよう健康と日常生活動作の維持・向上に努めます。
- ・ サービス利用時のバイタルチェックの実施と、状態を観察し、心身の変化などの必要な情報は介護者やケアマネージャーと共有し、安全なサービス提供に努めます。
- ・ 昨年度に引き続き、高齢者事業所の感染リスクを勘案し、マスクの装着や換気・消毒などの感染予防対策を行うとともに、タイムリーな情報収集・発信に努め、ご利用者・家族さんへの情報提供・注意喚起を行います。

##### ➤ 介護サービス・機能訓練

- ・ 季節感を取り入れた行事やレクリエーションを行い、社会性の維持を図ります。
- ・ 他利用者とのコミュニティ形成の支援、また、職員との関わりにより、孤独感の解消を図ります。
- ・ 現有能力を奪ってしまわないよう過剰な介護を慎み、専門的視点から自立支援できるよう、職員の資質向上に努めます。
- ・ 作業療法士の雇用により、生活場面を想定した生活機能維持向上訓練ならびに機器導入を検討し、運動機能訓練の充実に取り組みます。
- ・ 認知症ケア実践者研修修了者を中心とし、認知症の方が穏やかに過ごしていただけるよう、チームで認知症ケアに取り組みます。

##### ➤ ご家族への支援

- ・ ご利用者・家族さんに安心してサービスを利用していただけるよう、日常から送迎時、電話連絡、連絡帳を通じてコミュニケーションを図りを、信頼関係の構築に努めます。
- ・ ご利用者に適した介護技術や福祉用具など専門的なアドバイスが行えるよう、研修により職員の知識向上に努めます。

##### ➤ 事故防止

- ・ ご利用者個々の心身の状況や日々の変化を観察し、ケアマネージャーや家族さんから情報収集する事で転倒予防に努めます。
- ・ 収集した情報の記録やヒヤリハット記録、インカムを活用した職員間の情報共有を行い事故防止に努めます。
- ・ 施設設備や備品等の衛生管理と自主点検により、危険箇所の改善を行い事故防止に努めます。
- ・ 事故報告をもとに検証・分析を行い、事故の再発防止に努めます。

◆ 今年度の重点施策

昨年同様、引き続き感染対策に配慮してレクリエーションの企画・提案をし、ご利用者に楽しんでいただけるよう工夫して実施いたします。

- 機能訓練指導員（作業療法士）のリハビリ専門職の指導と伴に、「LIFE」システムを活用することにより、計画・実行・評価・改善のサイクルを実践し、科学的に裏付けされた機能訓練計画により、自立支援介護の提供を目指します。

C) 友愛高齢者生活支援センター

◆ 行動指針

- 地域との交流を積極的に図り、地域課題の抽出・対応に努めます。
- ご利用者の意思に寄り添い、適切なアセスメントに基づき本人の強み(ストレングスモデル)を引き出し自己決定により自立した生活が営む事ができるように支援してまいります。
- 出来るだけ多くの研修に参加して職員一人一人が知識を深め、学ぶ喜びを仲間と共有してご利用者の利益に繋げていきます。

◆ サービスの取り組み

<職員の質の向上について>

- 週に1度のペースで部署内の情報共有会議を開催し、併せて「事例の検討会・学習会」を月に一度、各職員が担当し開催致します。
- WEB、参集等による合同研修会等に参加、同法人や他法人の垣根を越えて交流を図り、上記情報共有会議にて振り返りを行い、職員の資質向上に努めます。
- 職員が相互に協力し、外部研修や内部研修に積極的に参加できるよう支援します。
- 各自、スキルアップの為、自己学習・自己研鑽に努めます。

<効率性の向上について>

- 日々の業務や会議において、職員間での円滑なコミュニケーションを図り、職員個々の問題の抱え込みを防ぎ、相談のしやすい職場環境、風土作りを推進します。
- 職員の異動や復職に対して、職員間の相互理解・協力を深めて効率を高めて円滑な事業運営に努めます。
- タブレットを有効活用して、現状の業務内容を再確認し、課題・問題点を洗い出して業務の効率化を図ります。

◆ 今年度の重点施策

<人材育成について>

- 人事異動を含め管理職の育成を念頭において、主任介護支援専門員が中心となり、職員間の協力・連携体制を充実してまいります。
- 職員の資質向上について、情報共有会議等を媒体として主任介護支援専門員が「スーパービジョン」を行います。また、外部研修等で得た知識を他職員へ還元するにあたり、

各自発表方法を工夫し、センター職員の理解を深めていきます。

- ▶ 他事業所との関わり・事例検討会、交流機会の場に参加し視野を広げていきます。
- ▶ センター職員は更新研修に参加し、主任ケアマネージャーの資格取得を目指してケアマネージャーとしての質の向上を図ります。

#### ＜働き方改革に伴う職員の業務管理について＞

- ▶ 上記に挙げた職員間のコミュニケーション及び情報共有を活用し、有給休暇の取得率の向上・リフレッシュ休暇が取得できるように努めます。
- ▶ 育児休暇を終え復職する職員が子育てと仕事の両立が図れるように皆が協力し働きやすい環境を作ります。
- ▶ 職員の相互協力体制構築により時間管理能力を高め、超過勤務の削減に取り組みワークライフバランスの向上を図ります。
- ▶ 職員個々の専門性を高め、質の高いケアマネジメントを実施する事で効率化を図っていきます。

#### ＜感染対策について＞

- ・ 職員の健康管理に注意を払い、感染リスク軽減のための時差出勤を行う等、感染状況を鑑みて対策を講じます。
- ・ 日々の訪問時等においても、ご利用者の感染対策に配慮し、万全を期して対応してまいります。

#### ＜災害時対応について＞

- ・ 有事に備え迅速な対応がとれるよう、事業所内で利用者対応リストを管理し定期的に更新して情報共有し、シミュレーションを行います。

## 2. 拠点リスクマネジメント体制

- ・ 毎月1回の安全管理委員会の議論内容・リスク管理について、安全管理担当者から特養ユニット会議やデイサービスフロア会議、居宅会議などへ情報共有します。
- ・ ICT化補助金を活用してセンサーの導入を計画実行し、安全対策を充実します。
- ・ 毎月1回の災害対策委員会の委員を中心に、自然災害BCPを策定し、防災対応・防災設備の点検取扱を含めた日頃からの管理訓練を行い、福祉避難所開設訓練を継続して地域の防災対策にも努めます。
- ・ 年1回の防犯訓練を警察ならびに警備会社の協力の上で実施します。
- ・ 感染対策委員会により、感染症BCPを策定し、コロナ2019を含め、施設内感染を防ぐため定時委員会・臨時委員会を開催し、感染発生時や感染疑い事例に迅速に対応し感染対策に努めます。また、消毒・手洗い・うがい・ガウンテクニック等の標準予防策を徹底します。

## III. 職員体制・教育

### 1. 職員配置及び人件費

#### A) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ◆ 施設長 1名・副施設長 1名・生活相談員 3名・栄養士 2名・看護職員 6名・機能訓練指導員 1名・介護支援専門員 1名・介護職員 56名・事務員 5名(運転士含)

- ◆ 別紙予算案参照
- B) デイサービスこだま
  - ◆ 管理者 1名・生活相談員 2名・看護職員 2名・機能訓練指導員 1名・介護職員 7名・運転士 2名
  - ◆ 別紙予算案参照
- C) 友愛高齢者生活支援センター
  - ◆ 介護支援専門員 5名 産休者1名
  - ◆ 別紙予算案参照

## 2. 人材確保・定着率向上対策

- ・ 職員同志が思いやりを持ち、助け合う職場風土を醸成し定着率を高めます。
- ・ 職員同士のコミュニケーション円滑化のため、昨年度終盤から再開した懇親会やクラブ活動などを出来る限り再開していきます。
- ・ 会議や上司との面談を通じ、日頃から相談・提案しやすい関係づくりに努め、上司・同僚からのフォローアップを推進します。
- ・ ご意見箱と共に改善提案箱を設け、環境整備・業務改善に努め、働きやすい職場づくりに取り組みます。
- ・ リフレッシュ休暇取得を含め、有休消化率の向上に努め、消化率 80%を目指します。
- ・ 技能実習生 1 期生 3 名のうち、1 名が特定技能介護職員として友愛苑に残ってくれました。二期生の 3 名も 11 月に 3 年の実習期間が満了となるため特定技能介護職員として継続勤務していただけるよう相談します。留学生から介護職員へ移行した 1 名と合わせてベトナム人介護員は 5 名となりました。昨年 4 月に着任したネパールの特定技能介護員 3 名も夜勤業務もこなし、貴重な戦力となっています。
- ・ 今年度はネパールの特定技能介護職員を 2 名増員し、介護人財の安定を図ります。

## 3. 職員教育

- ・ 管理者研修を開催し、教育体制の充実を図るとともに、インカム等も活用し OJT への取り組みを深めます。
- ・ 別紙研修計画に基づき、リモート機器の活用等の感染対策を施し内部研修を開催していきます。
- ・ 職員の資質向上のため、リモートでの参加も含め積極的に外部研修への参加を促していきます。

# IV. 会議・委員会等

## 1. 会議

- A) 共通
  - ・ 別紙参照
- B) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)
  - ・ 別紙参照
- C) デイサービスこだま
  - ・ 別紙参照

D) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 別紙参照

2. 委員会

A) 共通

- ・ 別紙参照

B) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ・ 別紙参照

C) デイサービスこだま

- ・ 別紙参照

D) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 別紙参照

## V. 防災計画

消防計画に基づき、年2回職員入所者参加の避難・誘導・消火訓練を行います。防災訓練についても、大規模災害を想定したシミュレーションを行います。定期的に災害対策委員会で有事に対する備えを講じるとともに、地域の防災コミュニティである防災絆の会との連携を深め、コロナ禍で開催できなかった地域防災連絡会を開催します。また、防犯訓練にも取り組み、日頃からの備えに努めます。

## VI. 事業収支計画

A) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ・ 目標稼働率を年間平均 95%と設定し、高い稼働率の維持を目指します。
- ・ 介護保険収入ベースで 580,000,000 円を目指します。
- ・ 人件費としては、年間 370,300,000 円を確保させていただきます。
- ・ 経費としては、経年劣化の修繕を見越し、年間 159,930,000 円を計画させていただきます。

B) デイサービスこだま

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による稼働率低下からの回復を目指し、目標稼働率を年間平均 75.0%、年間平均介護度を 1.9 と設定し、稼働率の向上及び中重度対応に努めます。
- ・ 介護保険収入ベースで 85,500,000 円を目指します。

C) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 居宅介護サービス計画作成 1ヶ月平均 140 名・介護予防数名程度を目指します。